

健康経営とSDGs

目次

1. 健康経営とは
2. SDGsとは
3. 健康経営とSDGsを結び付けた例
4. 健康経営とSDGsの関係
5. おわりに



健康経営と「SDGs」には深い関係性があることをご存知でしょうか？

多くの企業では健康経営の担当部署（人事部/健康保険組合など）とSDGsの担当部署（広報/IRなど）が異なっているため、健康経営とSDGsを結び付けて考えるご担当者様は多くはいらっしゃらないかと思います。しかし、「健康経営に取り組むことは実はSDGsの目標達成に向けた取組にもなっている」ということを本資料ではお伝えします。

健康経営とは

Health management

経済産業省は以下のように定義しています。
分かりやすく言うと、企業の経営目的達成のために、
企業で働く人たち一人ひとりの健康を大切にしよう、という取組みです



「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待される」



SDGsとは

Sustainable Development Goals

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称です。2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。持続可能な世界を実現するために17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として残さない（leave no one behind）」ことなどが謳われています。



「開発目標」と聞くと開発途上国への支援などを想像しますが、**SDGs** は先進国も含めた全ての国が取り組むべき普遍的な目標とされています。また、政府だけではこのような目標を達成することは困難であり、企業や私たち一人ひとりにも行動が求められていることが特徴です。このため、日本政府の旗振りの下、日本企業も**SDGs**達成に向けた様々な取組を行っています。



健康経営とSDGsの関係

Health management & Sustainable Development Goals

SDGsでは「持続可能性」というキーワードで、経済のみならず環境や社会などの幅広い内容をカバーしています。企業が持続的に成長していくためには従業員が心身共に健康で働けることが重要であり、SDGsへの取組みは、**健康経営の実現に繋がっています。**

また裏を返すと、健康経営に取り組むことで企業の経営課題が取り除かれ、企業が持続的に成長できるようになるため、健康経営への取組みもSDGsの達成に繋がっています。



健康経営とSDGsを結び付けた例

Health management & Sustainable Development Goals

具体的に**健康経営**は**SDGsの3つの目標**に深く関連しています。

目標3：すべての人に健康と福祉を



健康経営における以下の取組がSDGsの目標3の達成に繋がっています。

ヘルスリテラシー向上、感染症予防対策、保健指導、メンタルヘルス対策、喫煙対策、受動喫煙対策

目標5：ジェンダー平等を実現しよう



健康経営における以下の取組がSDGsの目標5の達成に繋がっています。

ヘルスリテラシー向上、感染症予防対策、保健指導、メンタルヘルス対策、喫煙対策、受動喫煙対策

目標8：働きがいも経済成長も



健康経営における以下の取組がSDGsの目標8の達成に繋がっています。

ワークライフバランスの推進、職場の活性化、両立支援、過重労働対策

終わりに

At the end



SDGsというと自分とは関係のないどこか海外の取組だと感じる方もいると思いますが、
SDGsは「**持続可能**」というキーワードのもと、開発途上国だけでなく日本社会にとっても大切な、
経済と社会を持続的に発展させ続けるための取組み（挑戦）です。

そして健康経営とSDGsは共に、性別・年齢・人種を超えて、
人々が平等かつ健康に、十分に能力を発揮できる社会を目指しています。

健康経営のご担当者様は、自社の健康経営がSDGsの達成に繋がっていること、
そしてSDGsのご担当者様は、SDGsの達成に自社の健康経営が貢献していることを意識して、
社内の連携を深めてみてはいかがでしょうか。

【弊社HP】

